

# 遠足 Der Ausflug



すべてに幸あれ・・・

病める天才の  
奇妙で優しい共同生活。  
ウィーン、秋。  
男たちは幸福への遠足に出かける。

【日時】 2009年3月15日(日)

【会場】 あじびホール (福岡アジア美術館8F)

【時間】 ① 13:00 ~ 14:40  
② 16:00 ~ 17:40

【料金】 一般 1,000 円 (前売 800 円)  
学生 700 円 (前売 500 円)

※ 障害者手帳をお持ちの方は学生料金となります。

監督・編集／五十嵐久美子

撮影／山崎裕 録音／吉田一明 音楽／近藤等則

現像／イマジカ プロデューサー／橋本佳子・長窪正寛

エグゼクティブプロデューサー／河野透

協力／オーストリア航空

制作／Digital Media Entertainment

DOCUMENTARY JAPAN INC.

1999 年 日本 イーストマンカラー 86 分



私のゴッドファーザー、全能の神の殺害はこうして企てられた

ベッドの中でするセックスは素晴らしい！

看護婦さん、私はまたシーツを数え間違えたようです

# 遠足 Der Ausflug

## ◎ 病める天才たち

オーストリア、ウィーン郊外にある「芸術家の家」。そこでは10人の画家がそれぞれに自由な時間を過ごしながらかつ共同生活を送っている。いずれも中年を過ぎた独り身のアーティストたちはみな心の病を持つ。壁にも地面にも絵を描き上から何度も塗り直す男。6千年前から生きてきたと信じ自分の歴史絵巻を綴る男。手足のない人間ばかりを描く男。彼らの描くものには、自己の内側に構築された世界が素朴で斬新に表現されている。ヨーロッパの画壇で天才と呼ばれる作家たちの奇妙で優しさにあふれる日常を、秋から冬のウィーンを背景に美しく静謐な映像の中に描き出す。



## ◎ 芸術家の家とは

美術教育を受けない子どもたちや、精神を病んだ人々によって生み出された作品は「アールブリュット < Art Brut > =生の芸術」と呼ばれ、近年日本でも注目され始めている。ヨーロッパでは1920年代からその芸術的価値が認められてきた。この映画の舞台となる「芸術家の家」は、ウィーン郊外グギング村にある神経科病院の敷地内にある。病院の医師であったナブラティル博士が芸術的な才能を持つ患者たちのために1981年に創設した。以来グギングのアーティストたちの作品は欧米各地の展覧会で紹介され、注目を集めてきた。中でも人気の作家チルトナーの作品は1号2万ドルという高値がつく。アーティストたちはそれぞれに自分の口座を持ち、売り上げの一部で「芸術家の家」の運営がまかなわれている。



## ◎ それぞれの遠足

アーティストたちは「芸術家の家」の建っている神経科病院の敷地を出てどこにでも行く。「家」から出かけることを、彼らは子どもが言うように「遠足=Der Ausflug」と呼んでいる。年に2回だけ恋人とのデートに出かける男は、彼女との恋物語を描く。毎週1回亡き母の墓参りに行く男は、少女のような母の姿を描く。毎日3回当たったことのない宝くじを買いに行く男は……。それぞれの心の中に埋められて孤独な遠足。そしてプラハでの展覧会が開かれる。国境を越えバスに乗って出かける年に1度の長い遠足。老いた肉体に少年の心も持つ男たちのかいま見せる光と闇は、情報に翻弄される病める現代人に幸福とは何かを問いかける。



【日時】2009年3月15日(日)

【会場】あじびホール(福岡アジア美術館8F)

福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階  
TEL 092-263-1100

【時間】①13:00～14:40 ②16:00～17:40

【料金】一般 1,000円(前売800円) 学生700円(前売500円)

※ 障害者手帳をお持ちの方は学生料金となります。

【前売チケット購入・お問い合わせ先】

メガチケットアトリエ

福岡市博多区下川端町3-1 博多リバレイン地下2階 TEL 092-281-0081

NPO 法人 まる

福岡市南区野間3-19-26 TEL 092-562-8684

※ 前売チケットは店頭販売のみとなっております。

## 関連企画

エイブル・アート2009企画展「Life Map - 私とワタシ -」

開催期間:2009年2月11日(祝・水)～3月29日(日)

会場:ギャラリー アトリエ(博多リバレイン地下2階)

入場無料

